

2023 Vol.155
8月20日発行

看護

にいがた

公益社団法人
新潟県看護協会機関誌

Series つながる・ひろがる・たかめる
専門性の高い看護



Contents

- | | |
|---------------------------|---|
| 02 会長あいさつ／瑞宝単光章受章 | 08 看護の日事業 |
| 03 令和5年度 看護協会役員・職員の紹介 | 09 看護の出前授業 |
| 04 新潟県看護協会通常総会 | 10 災害支援ナースの養成及び派遣制度が新たな仕組みでスタートします |
| 05 職能集会報告 | 11 新潟県ナースセンターからのお知らせ／会員登録〈ナースシップ〉よりお知らせ |
| 06 つながる・ひろがる・たかめる専門性の高い看護 | 12 お知らせコーナー |
| 07 | |

会長挨拶



公益社団法人新潟県看護協会
会長 斎藤 有子

会員の皆様には、日頃より看護協会の活動及び事業運営にご支援、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

これまで、新型コロナウイルス感染症への対応については、医療、保健、介護、在宅等の最前線において、感染のリスクの不安を抱えながら懸命に取り組まれた看護職の皆様に敬意を表します。

この間の看護職が果たした役割に対して県民の皆様から高い評価を受け、看護職の役割とその活動の効果を社会に示すこととなりました。

さらに、私たちを取り巻く環境は、少子高齢化、気候変動及び新興感染症などの発生により大きく変化し、社会そのものが大きな影響を受けています。私たち看護職員は、このような社会状況に対応し、保健、医療、福祉へのニーズを見極め、それに応えていかなければなりません。

さて、令和5度新潟県看護協会通常総会は、6月14日に新潟グランドホテルで開催しました。昨年度同様に、規模を縮小しての開催となりましたが、提出しました議決事項全てを承認いただくことができ、感謝申し上げます。

また、6月17日には合同常任委員会を開催し、新しい体制での取組みをスタートしたところです。今年度から重点目標の取組期間を3年間とし、事業を計画し、実施、評価しながら進めてまいります。3年という期間を設けることにより、3年後のあるべき姿に向けて、事業展開を図っていきたいと考えております。

令和5年度新潟県看護協会の重点目標は、「地域の人々の健康と療養を支える看護の機能強化と連携」「地域の健康危機管理体制の構築」「看護職が働き続けられる勤務環境づくりの推進」「看護施策を推進するための持続可能な基盤強化」の4点です。

看護職は、医療と生活の両方の視点を持つ専門職として、地域で暮らす全ての人々に対し、健康な生活の実現に貢献し、地域社会の健康の促進につながる活動を継続的に実践することが求められています。今後はさらに地域の看護力を強化し、看護の役割と効果を社会に示すとともに、看護職が誇りをもち、安心して働きつづけることができるよう協会活動の更なる充実に努めてまいります。

会員の皆さんと一緒に考え、ともに取り組んでいきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

令和5年度 春の叙勲受章おめでとうございます。

瑞宝単光章 受章

伊藤 千恵美 氏 [元新潟大学医歯学総合病院]
看護部副看護部長

令和5年度 看護協会役員・職員の紹介



看護協会役員

後列 左から 青木常務理事 青柳常務理事 安江常務理事 池田専務理事
前列 左から 渡邊副会長 鈴木副会長

今年度重任になった青柳常務理事をはじめ、新任の鈴木副会長、安江常務理事のお二人を新たにお迎えし、令和5年度新潟県看護協会は始動をいたしました。医療を取り巻く環境や地域ごとの課題等看護職一人一人の課題として取組を実践していきます。持続可能で安定的な会の運営のため、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

総務課

左から 落合事務局長 上田

4月から、新しい事務局長が就任されました。
また、経理係に新しい事務職員が入りました。
これからも、よろしくお願ひいたします。



教育研修課

左から 渡辺 立川 三本 岡田 伊藤

令和5年度教育研修、認定看護管理者教育課程ファーストレベル・セカンドレベル、臨地実習指導者養成講習会の企画・運営を行っています。

皆様のニーズを把握しながら、看護職が質の高い看護が提供できますように、また、キャリア開発に繋がるようにと考えております。研修への参加お待ちしております。



訪問看護推進課

左から 小野 今出 石附

質の高い訪問看護サービス提供体制の安定化および推進を図ることを目的に、関係団体と連携しながら事業を進めています。訪問看護関連研修4コース、訪問看護ステーション運営アドバイザー事業や訪問看護師育成サポート研修など個別支援、また訪問看護への関心を高めて頂くためのインターンシップ事業や周知活動などの他、令和5年度は、各ステーションの中で人材育成体制を更に整えることができるよう「訪問看護師の育成体制整備支援事業」にも取り組みます。どうぞよろしくお願ひいたします。



ナースセンター課

後列 左から 倉島 塚田 本間
前列 左から 伊藤 高橋

ナースセンターは、看護職員確保・定着の「総合拠点」になることを目指して、看護職の求職者と求人施設をサポートしています。経験豊富なスタッフが、双方の様々な悩みに親身になって対応しています。また、安心して再就職できるよう各種セミナーの開催や施設見学など学習や交流の場をご用意しています。お近くのナースセンターにお気軽にご連絡・ご相談下さい。

令和5年度 新潟県看護協会通常総会

令和5年6月14日(水)新潟グランドホテルにて、通常総会が開催されました。

新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、参加人数を各施設1名とし、99名の参加で行われました。

令和4年度の事業報告、決算報告、令和5年度役員等の改選が行われ全て議決されました。

令和5年度より3カ年の新潟県看護協会の重点目標は下記の通りです。

重点目標

- ① 地域の人々の健康と療養を支える看護の機能強化と連携
- ② 地域の健康危機管理体制の構築
- ③ 看護職が働き続けられる勤務環境づくりの推進
- ④ 看護試作を推進するための持続可能な基盤強化



斎藤会長あいさつ



五十嵐副会長閉会のあいさつ



総会会場の様子

職能集会報告

保健師職能委員会

保健師職能委員長 山田 秀子

令和5年度の保健師職能活動方針は、①多機関・多職種とネットワークを拡げるとともに、保健師の専門性を発揮する②災害や感染症などの健康危機対応能力の向上を図る、としました。

保健師職能集会では、テーマを「成果の見える保健指導」とし、大阪大学大学院医学系研究科社会医学講座特任准教授野口緑氏に御講演いただきました。体の中の変化をデータで理解することの重要性を改めて学ぶことができました。9月8日(金)は、「災害時に効果的な『受援』を実現するために～受援力を高めよう～」をテーマに情報交換会を開催します。健康危機対応能力としての受援力について意見交換を予定しています。11月14日(火)の研修会は、「保健師を継続する力(仮題)」というテーマで、保健師の専門性を問い合わせ直してモチベーションを高める機会にしたいと思います。

今年度の活動にぜひ御協力くださるようお願いします。



助産師職能集会報告

助産師職能委員長 佐藤 志津子

令和5年度助産師職能集会では「じょさんしONLINE」を立ち上げた講師の先生と現代社会における支援方法を考えていきたいと思います。コロナ禍で、これまで当たり前だった対面での出産準備教育や産後クラス等の集団指導などが中止となり、妊娠・出産・育児の支援はいろいろと様変わりしました。また情報の多様化により現代の妊産婦はSNS、オンラインなどインターネットから多くの情報を収集しています。私たち助産師も現状を把握して、妊産婦に受け入れられる情報提供やケアをしていくことが必要だと考えました。

また少子化と医師の働き方改革による産科医師の集約化、産科病棟の混合化などが全国的に問題となっています。そこで今年度県内の分娩取り扱い施設の現状をアンケート調査していく予定です。ご協力をお願いします。

看護師職能Iの活動について

看護師職能I委員長 長岡 敦子

看護師職能I病院領域におきましては、昨年度より活動目標に「地域包括ケアシステム推進に向けた情報交換を行い、看護師間の連携強化を図る」「看護職員が専門性を発揮し、その人らしさを支えるための支援をする」を掲げ取組んでいます。地域で暮らす一人ひとりの暮らしに寄添い健康を支えるには地域の保健・医療・福祉による連携と協力が必要です。看護職が地域に視野を広げ役割機能を発揮する手がかりとして、看護職能間にとどまらず三職能間の意見交換会や職能間の課題を共有する場を計画しています。また、病院領域に勤務する看護職の方からの意見や要望をお聞きし看護師職能I活動に活かして参ります。

看護師職能IIの活動について

職能II委員会 桑原 明美

看護師職能IIの活動にご理解ご協力いただき感謝申し上げます。

令和5年6月14日に開催しました看護師職能集会において、「看護職のためのソーシャルワーク」と題して、坂詰明広氏よりご講演をして頂きました。参加された皆様の仕事に生かしていただけるのではないかと思っております。

今年度の活動としては毎月の委員会の開催、8月には支部代表者会議を職能合同で行う予定で準備をしております。11月には「共に働く仲間として～発達障害傾向の方への支援の工夫～(仮題)」の研修を計画しておりますので、多数の皆様の参加をお待ちしています。



2019年より、当院では 特定行為区分「中心静脈カテーテル管理関連」、特定行為「中心静脈カテーテル抜去」の看護師特定行為研修が行われています。研修を受けた看護師は、実践的な理解力、思考力および判断力、専門的な知識、技術を修得し、医師の判断を待たずに手順書に則って、タイムリーな特定行為実践が可能となりました。特定行為研修修了者(以下、特定看護師)を、計画的に養成していくことが、本制度創設の目的とされています。

現在、4名の特定看護師が院内に在籍し、横断的に活動しています。昨年度は、医師と連携を図り30症例を有害事象なく実践することができました。私は看護師として業務する中で、患者様の症状、症候を正確にアセスメントし、ケアや治療に繋げたいという気持ちがきっかけとなり、2020年に本研修の受講を希望しました。療養上の患者様にとって、看護師は一番身近な存在であり、看護師が病状の変化をアセスメントしタイムリーな対応に繋げる事で、患者様の安全な医療提供に繋がると考えています。

現在、ICU併設の循環器内科病棟で勤務しており、重症度の高い患者様や、病状が不安定な患者様の看護を行っています。加療目的に中心静脈カテーテルや末梢挿入型中心静脈カテーテルを挿入されている患

看護師の可能性は無限大 活動の幅を広げる特定行為研修

新潟厚生連新潟医療センター

特定看護師

佐藤 隆広

者様も多く、症例の約8割が自部署での実践です。研修の共通科目で学んだ知識や判断力も活かせ、何よりカテーテルが不要となった患者様に、すぐに処置ができる医師を待たず、速やかに抜去できる事で患者様の早期離床に繋げる事が可能となり、タスクシェアの観点だけではなく看護師としてのやりがいを感じています。

今後の活動の課題としては、診療科や部署に関係なく特定看護師を活用して頂けるよう、医師と連携を図れる体制が必要だと考えています。その為、特定看護師専用PHSを設けた事や、カテーテル抜去に向けて、医師とディスカッションを図れるよう定期的な院内ラウンドを開始しました。定期的な観察により最適なタイミングを見極め、患者様にとって安心で安全な特定行為実践を目指したいと思います。

患者様にとって何が最善の治療、支援になるのか看護師の視点で考え、安全で信頼のできる看護の提供を心掛け、自己研鑽を続けていきたいと考えています。



佐藤隆広さんの修了した特定行為研修

- 栄養に係るカテーテル
(中心静脈カテーテル抜去)関連

専門性の高い看護



私が勤務している病院は、定床数350床で年間平均患者数325名、人工呼吸器使用患者が約120名、そのうち気管切開患者が50%以上を占めています。一日に気管カニューレ交換をする患者は平均10名以上で、医師のスケジュールにより処置時間の変更もあるため、患者の食事や趣味の時間に影響することがありました。そこで特定行為研修を修了した看護師が専門的な知識による観察や気管カニューレの交換等の技術的な介入をすることによって、患者の生活に影響を及ぼさず、医師の負担の軽減や患者のQOL維持・向上に繋げができると考え、特定行為研修を志望しました。

2020年1月に特定行為研修を修了し、まず特定行為実践に必要な手順書の作成や体制の構築に携わりました。当時、特定行為に関する認知や参考資料は少ない状況でしたが、特定行為に関するポスター作成や動画研修、専用ユニフォーム着用による啓蒙活動によって特定行為への認知が進み、体制を円滑に構築することができました。その後、組織横断的に活動を広げ、当時72名の気管切開患者のうち約半数の患者に気管カニューレ交換を行い、患者の時間に合わせて実施したことによってQOLの向上に繋がりました。その後配置換えになった外来では、関係する方々から

特定行為研修を修了した看護師の活動

独立行政法人
国立病院機構新潟病院
看護部
石塚 雄大

の助言や協力をいただきながら特定行為の依頼から実践までのフローチャートを作成し、特定行為の実践とともに患者・家族への在宅指導を行っています。当院は特定行為研修指定研修機関であり、毎年特定行為研修修了者を育成しています。私は1期生であり、指導者として特定行為研修に関わっています。患者の一番近くにいる看護師が気管カニューレの交換を行うことは患者の安心に繋がっていると考えます。研修を受ける看護師の指導の際は、技術面だけではなく、自身の経験を活かしながら講義や実習を通して研修生が学びを深められるように心がけています。

今後は、特定行為研修を修了した看護師による事例検討や研修会等の活動、知識の習得と技術の研鑽を行うことで病院全体の看護の質向上を図り、併せて幅広く活動できる環境の整備・拡大を進めていきたいと思います。

石塚さんの修了した特定行為研修

- 呼吸器（気道確保に係るもの）関連：経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整
- 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連：侵襲的陽圧換気の設定の変更、非侵襲的陽圧換気の設定の変更、人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整、人工呼吸器からの離脱
- 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連：気管カニューレの交換
- ろう孔管理関連：胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換
- 創傷管理関連：褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去
- 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連：脱水に対する輸液による補正



令和5年度 看護の日事業

“看護の心をみんなの心に”

●日時: 2023年5月12日(金) 13:00~15:40

●会場: 新潟グランドホテル

令和5年度 看護業務功労者新潟県知事表彰

受賞者

三好 君江様(佐渡市立両津病院)

渡辺 しき子様(北里大学保健衛生専門学院)



三好 君江様

令和5年度 優良看護職員新潟県看護協会会长表彰者

受賞者 162名



代表者 金泉 まゆみ様

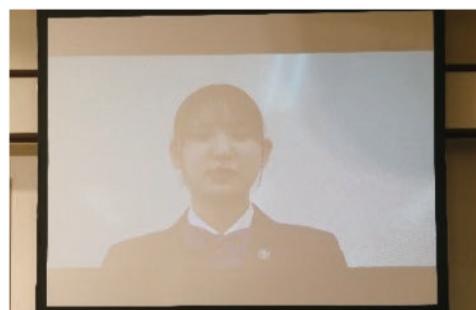


表彰風景

高校生一日看護師体験発表

感染対策のため、事前収録による発表が行われました。

5名の高校生から学びの発表をしていただきました。看護師として働くことの大変さを知ることができた、などの貴重な体験発表をしていただき、ありがとうございました。コロナ禍で大変な中、ご協力いただきました施設の皆様に深く感謝申し上げます。



発表動画の様子

市民公開フォーラム

テーマ

“生きるを伝える”

講 師

オカリナ奏者

さくらい りょうこ様

式典・市民公開フォーラム



自身の半生をもとに「幸せに生きる」ということについて、
オカリナ演奏を交えながら希望を語っていただきました。

看護の出前授業

令和5年5月12日看護の日事業にて、十日町市の千年の森ホールで、出前授業を開催いたしました。中魚沼地域の看護師数が少ないとこと、また令和2年度に開校した県立十日町看護専門学校の近隣であることから、看護師の職業選択を推進することを狙いとし、十日町市での開催が決まりました。参加校は、学校からの希望を募り、下条中学校、水沢中学校、川西中学校、松代中学校の4校、総勢143人でした。

講師は、県立十日町病院の主任助産師の越村悦子さん、訪問看護ステーションおむすびの管理者の諏訪部有子さん、また県立十日町看護専門学校2年生の大久保里莉さん、水落愛さんにお願いし、「命の大切さ」や「地域医療に携わる喜び」、「看護学校での授業や看

護師を志したきっかけ」をテーマに、講義や体験を行いました。生命の誕生に関する〇×クイズや赤ちゃんのモデルを抱いてみる体験、訪問看護の際どのような活動を行っているのか、看護学校の授業風景や演習の様子について等、学生さんが看護師を目指すにあたり知りたいことについて様々な視点からの授業が行われました。

生徒さんからは、赤ちゃんや訪問看護に関する質問や、看護学校での授業や患者さん視点での疑問について様々な質疑応答が行われました。

講師の越村さん、諏訪部さん、大久保さん、水落さん、ありがとうございました。



会場の様子



赤ちゃんのモデルを抱っこする体験場面



県立十日町看護専門学校の学生



県立十日町病院 越村 悅子様



訪問看護ステーションおむすび
諏訪部 有子様

災害支援ナースの養成及び派遣制度が新たな仕組みでスタートします

常務理事 青柳 玲子

改正医療法・改正感染症法により、国は災害と新興感染症に対応できる看護職員の養成・応援派遣・確保を一体的な仕組みのもとで行うこととしました。(2024年4月施行)

このことを受けて日本看護協会は、従来の看護協会独自の仕組みによる看護職の派遣制度を見直し、国主導による新たな災害支援ナース(災害・感染症対応)の応援派遣体制を構築していくこととなります。

具体的にどのように変わるのか

新たな国の仕組みの創設により、従来災害支援ナースとして活動していただいている皆さんも、新たに下記の研修を受けて登録することが求められます。

また、登録した災害支援ナースは、都道府県と勤務する医療機関の協定に基づき、看護職の安全を担保し、労働者派遣法に抵触しないよう業務として位置付けられ、応援派遣されることとなります。

養成研修の実施

災害支援ナース養成研修は、厚生労働大臣が実施する研修となり、実際には、日本看護協会が厚生労働省から委託を受けて、災害・新興感染症に対応できる災害支援ナース養成研修の企画を行い、オンライン研修を実施します。さらには、都道府県看護協会は日本看護協会から委託を受けて、集合研修による演習を実施します。

2023年度より下記の通り「災害支援ナース(災害・新興感染症対応)養成研修」として開催します。(従来の災害支援ナース養成研修は2022年度をもって終了となります。)

研修内容

◎災害・感染症に係る応援派遣に対応できる看護職向け研修会(6日間)のうち

- オンライン研修「総論」「災害各論」「感染症各論」(4日間)
- 集合研修「災害(演習)」「感染症(演習)」(2日間)

これまでの災害支援ナース登録者及び令和4年度新型コロナウイルス感染症対応研修のうち「重症者対応研修」受講者には、オンライン研修の一部免除がありますが、受講が必要なオンライン研修と集合研修(演習:災害及び感染症)を受けて、新たに登録していただくことになります。受講免除の対象者には本会から連絡します。

リスト管理及び応援派遣調整

リスト管理や応援派遣調整は、都道府県が、地域の実情に応じて体制を構築することになっています。災害支援ナースの応援派遣は、看護職の安全を担保し、労働者派遣法に抵触しないようにするための体制をとります。

地域で災害や感染症拡大等が発生した際の体制整備に向けて、多くの看護職の皆さまからご理解をいただき、本研修を受講いただきますようお願いいたします。

※研修の詳細についてはホームページをご参照下さい。

法改正による災害支援ナースの概要

災害支援ナースは、従来より災害時の応援派遣において災害支援に貢献

新興感染症発症時の応援にも対応できる看護職員の養成の推進

円滑な派遣調整のための仕組みの整備

災害支援ナースの活動根拠の明確化

2024年度以降、養成研修を修了した災害支援ナース(災害・新興感染症対応)は
●改正医療法の「災害・感染症医療業務従事者」と位置付けられる
●都道府県・医療機関の協定に基づく業務と位置付けられる
※改正医療法・改正感染症法における災害・感染症医療業務従事者は、
医療機関に勤務する看護職が対象となる

- 災害支援ナースの活動の充実(災害・新興感染症対応)
- 災害時・新興感染症発生時に、都道府県において一体的かつ迅速に看護職の確保を図るための体制整備の促進

新潟県ナースセンターからのお知らせ

看護師等の離職時の届出制度

～離職される看護職の皆様へ届出のお願い～

届出制度とは、看護職の免許を持ちながら、その仕事に就いていない方や、いたん退職される方に、氏名や連絡先などを都道府県ナースセンターに届け出していく制度です。(看護師等の人材確保法改正による努力義務)

離職者本人による登録の他、ナースセンターによる代理登録や、病院や施設などからの代行登録もしていただいている。

届出制度『とどけるん』は、求人サイト『eナースセンター』と連携することができる。連携すると、無料で簡単に求人検索をすることができ、就職活動にご利用いただけます。



新潟県ナースセンターは、届けられた情報をもとに、ライフスタイルに合わせた働き方を支援していきます!



- 届出制度登録時、eナースセンターへの登録を「希望する」を選択すると、求人サイト『eナースセンター』が利用できます。
- 届出は一度のみです。すでに届け出た内容に変更がある場合は、『とどけるん』にアクセスし、情報の修正をお願いします。

看護師等の届出サイト
とどけるん



『とどけるん』
サイトはこちらから♪

会員登録〈ナースシップ〉よりお知らせ

登録内容に変更があった場合は、下記のいずれかの方法で届出をお願いします。

- ①キャリナースから変更。
- ②「会員データ変更届」(新潟県看護協会HPよりダウンロード可)を新潟県看護協会へ郵送またはメール、FAX。
- ③所属変更により会費納入方法が口座振替になる方は、「都道府県看護協会・日本看護協会入会申込書/会員情報変更届」または「キャリナース」より口座情報の登録をお願いします。



次年度の継続のお知らせは、9月のデータを基に作成されます。
変更のある方は8月中旬に変更を完了してください。
大切なお知らせがお手元に届かない事がないよう、
届出をお願いいたします。

※キャリナースURL▶

<https://kaiin.nurse.or.jp/members/JNG00010>



訪問看護推進課・訪問看護総合支援センターからのお知らせ

一日単位の講座

訪問看護従事者研修会（スキルアップ編）

目的▶ 質の高い訪問看護サービスの提供に向けて、実践につながる知識、技術を学ぶ

日時・内容▶ 9月 9日(土) ●在宅における嚥下障害のある利用者の看護

11月18日(土) ●在宅における糖尿病をもつ利用者の看護

12月 9日(土) ●在宅における慢性腎不全をもつ利用者の看護

公開講座

訪問看護従事者研修会（管理編）

目的▶ 管理者として、時代のニーズに沿った訪問看護サービスが提供できる管理・運営に必要な能力を養う

日時・内容▶ 10月21日(土) ●訪問看護ステーションにおけるリスクマネジメント

●訪問看護ステーション管理者の役割

公開講座

在宅看護（入退院支援）研修会

目的▶ 地域連携に必要な知識を学び、在宅で継続されている医療・看護サービス、支援システムの実際を知る 等

日時・内容▶ 10月28日(土) ●在宅療養生活の支援

●地域における診療

総務課からお知らせ

2023年10月より開始される適格請求書等保存方式(インボイス制度)について

当会の適格請求書発行事業者登録番号は【T3110005014808】となります。

当会HPも併せてご確認ください。 <https://www.niigata-kango.com/oshirase/> 5739/



BOOK 2023.00~00新刊図書

1	看護師の倫理調整力(第2版)専門看護師の実践に学ぶ 鶴若真理・長瀬雅子／編 日本看護協会出版会	5	40代・50代から考えるキャリア後期に向けた看護職人生の組み立て方 視線・生活設計・働き方 濱田安岐子／編 日本看護協会出版会
2	災害現場でのトリアージと応急処置 第3版 山崎達枝／編 日本看護協会出版会	6	DXとポートフォリオで未来教育対話でかなえる学びとキャリアのデザイン 著者／鈴木敏恵 日本看護協会出版会
3	認知症plus緩和ケア症状緩和とスピリチュアルペインへの対応 認知症の緩和ケアに関する研究会／編 日本看護協会出版会	7	看護法令要覧令和5年版 編集／勝又浜子・加藤典子・清水嘉与子・田母神裕美 日本看護協会出版会
4	もしものときにすぐ動ける応急処置52シーン 編集／三上剛人・田口裕紀子 日本看護協会出版会	8	看護師長・主任が育つ個人の成長がみえる12の実践事例 編著／佐藤工千子・佐藤紀子 日本看護協会出版会



創立50周年
株式会社日本看護協会出版会

いつも“看護”とともに。

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-2 日本看護協会ビル4F
TEL:03-5778-5712 <https://www.jnapc.co.jp>



編集後記



編集にあたり多くの皆様にご協力を頂きました、大変ありがとうございました。今後とも皆様に興味を持つていただける情報を届けてまいります。よろしくお願いいたします。

広報委員会: 本間／西潟／安達／松宮／佐藤
佐野／片野／渡辺